

| | |
|--|---|
| <p>【技術の名称】 NFPJ-B構法 一無耐火被覆柱梁接合部を有する柱RC梁Sからなる混合構造一 (改定1)</p> | <p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-26号 改1 性能証明発効日：2019年1月29日</p> <p>【取得者】 株式会社フジタ</p> |
|--|---|

【技術の概要】

本技術は、柱が鉄筋コンクリート造、梁が鉄骨造からなる混合構造架構において、申込者が保有しているFSRPC-B 構法の特徴であるバンドプレート、囲み板、鉛直スティフナーに対して耐火被覆を施さず、火災による火熱に対して混合構造が耐火性能を満足させるものである。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第08-26号 (2009年3月3日)
 改定1：GBRC 性能証明 第08-26号 改1 (2019年1月29日)
- ・ 梁偏心距離、柱小径の規定を追加
 - ・ コンクリートの種類を普通コンクリートに限定
 - ・ コンクリートの設計基準強度の下限値を追加
 - ・ 柱梁接合部せん断耐力式の修正
 - ・ 施工指針を追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、柱が鉄筋コンクリート造、梁が鉄骨造からなる混合構造架構において、FSRPC-B 構法の特徴であるバンドプレート、囲み板および鉛直スティフナーに対して耐火被覆を施さずとも、耐火性能を担保する手法の開発およびそれによる施工時の省力化を図ることを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「NFPJ-B 構法 設計指針」、「NFPJ-B 構法 施工指針」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁からなる柱梁接合部は、以下の性能を有する。

- (1) FSRPC-B構法による鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁からなる柱梁接合部が、バンドプレートおよび囲み板に耐火被覆を施さない状態においても、火災時に、柱および梁に先行してせん断破壊等の破壊を生じず、常時荷重 (固定荷重、積載荷重および積雪荷重) を支持できる性能を有し、火災階の柱に荷重を伝達できる。
- (2) FSRPC-B 構法による鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁からなる柱梁接合部を用いる架構形式において、火災時に、火災階の柱が鉄骨梁の熱膨張による伸び出し変位が生じた状態においても、上階柱から伝達された荷重を保持できる。

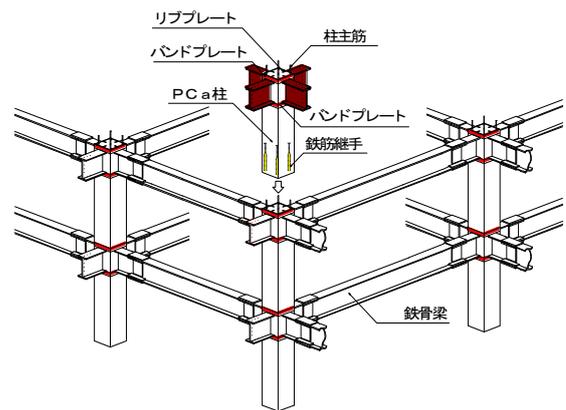


図1：構法の概要

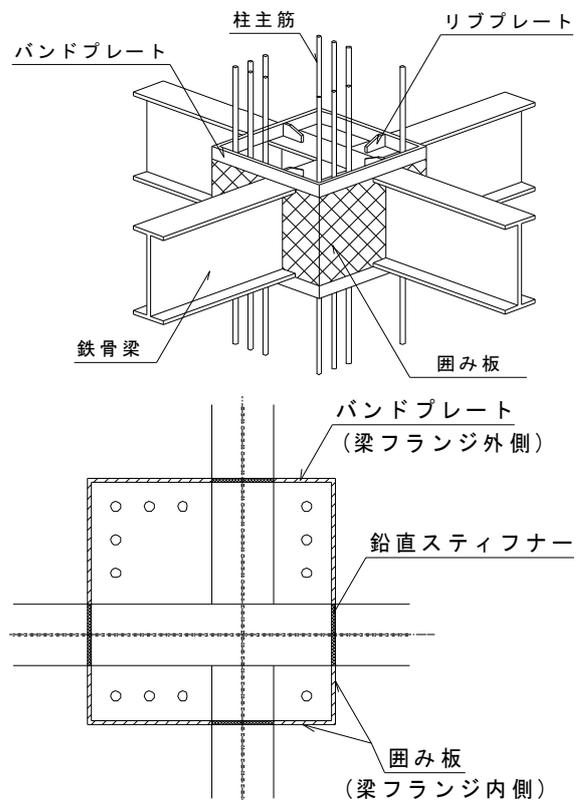


図2：偏心柱梁接合部

【本技術の問合せ先】

株式会社フジタ 担当者：シング ラヴィ
 〒243-0125 神奈川県厚木市小野 2025-1

E-mail : singh.ravi@fujita.co.jp

TEL : 046-250-7095 FAX : 046-250-7139